

グリーンカルチャー

令和7年度
夏号
No.327

こうか

発行 | 甲賀農業農村振興事務所
農産普及課

住所 | 〒528-8511
甲賀市水口町水口6200

電話 | 0748-63-6126

発行責任者 | 野田 枝里子



土山てん茶の 未来の扉が今開く！

4月18日、グリーンティ土山の最新鋭省エネ型てん茶工場の竣工式がありました。

この工場は、てん茶（抹茶の材料となる茶）の生産効率の向上と省エネを目指した、土山てん茶のこれからを担う工場です。



グリーンティ土山で製造されたてん茶

土山産てん茶のさらなる発展を目指して！

最新鋭省エネ型てん茶工場増設される

近年の健康食ブームにより、緑茶の持つカテキンなどの機能性成分が注目を集め、特に「食べる茶」としてこれらの成分を効率よく吸収できる抹茶の需要が国内外で高まっています。

そこで農事組合法人グリーンティ土山では、平成30年に大型てん茶工場を整備されましたが、その後も抹茶需要は拡大を続けており、「土山産てん茶」をさらに増産するため、新たに最新鋭省エネ型のてん茶工場（右図）を増設されました。



新機能充実！期待の最新鋭てん茶工場



硬化した芽専用の大型蒸機（左）と従来の蒸機（右）



排熱を伝えるダクト

新工場は、既存のてん茶工場での製造経験を活かして、新たな機能が組み込まれています。代表的なものを紹介します。

① 大型化した芽専用の処理装置

既存工場では、どちらかというと柔らかく細かな芽を製造することに特化していたため、大型化して固くなった芽の製造では、生産効率が上がりませんでした。

新工場では、大型化した芽を専門的に蒸す大型蒸機と予備乾燥を効率的に行う「熱破（ねっぱ）」という乾燥機を組み合わせた処理ラインを組み込むことで、この問題を解決しました。

② てん茶炉の排熱を有効利用

既存工場の熱源は重油でしたが、新工場の熱源はガスに変更することで、てん茶炉で発生した排熱を他の乾燥機に再利用できるようになりました。

そのため、新工場では大幅な省エネが可能になりました。

これから解決すべき課題について

こうして土山産てん茶の増産体制が出来上がりましたが、これから解決すべき課題があります。

1点目は、大型化した芽を蒸す装置は、県内初めて導入されたので取り扱い方法が確立できていないこと、2点目は、新工場の効率的な運用方法が定められていないこと、3点目は、地域をあげて、てん茶に向く品種の面積を拡大していくことです。

当課は、関係機関と連携して、これらの課題を解決していこうと考えています。

花きを栽培し、市場出荷を目指しましょう！

花きは生活に彩りを添え、生活を豊かにします。甲賀地域では市場出荷を目指した、「小菊」「リンドウ」「中輪ぎく」の栽培を推進しています。いずれの品目も市場出荷ルートが整備されており、確実な販売先があります。また、獣害の心配が比較的少なく、栽培には大きな機械を必要とせず、収穫物も軽いため、比較的誰もが取り組みやすい品目です。

関心を持たれた方は、ぜひ当課もしくはJAにご連絡ください。

JAこうか園芸特産販売課 0748-62-0588

小菊

- 仏花に欠かせない花で、「甲賀の小菊」として出荷・販売
- お盆・彼岸・年末と需要期が長い
- 水はけのよいほ場が適地
- 初期投資は少なめで1年目から収穫できる



リンドウ

- お盆を中心に、仏花からアレンジメントまで幅広い需要
- 夜間冷涼で、粘質で水持ち、肥持ちがよいほ場が適している
- 水田の転作品目として栽培ができる
- 株は据え置きで5年間ほど栽培できる
- 栽培初年度は株を養成し、収穫は2年目以降

中輪ぎく

- 販売先が明確で確かな需要がある
- お盆向け出荷の場合、5月中下旬から栽培が始まり、水稻育苗ハウスの後利用ができる
- 電照による開花調節を行うため、計画的な収穫が可能
- プランターを活用した「少量土壌培地耕」により、土壌条件によらず、初心者でも栽培できる



農作業中の熱中症リスクが高まっています！

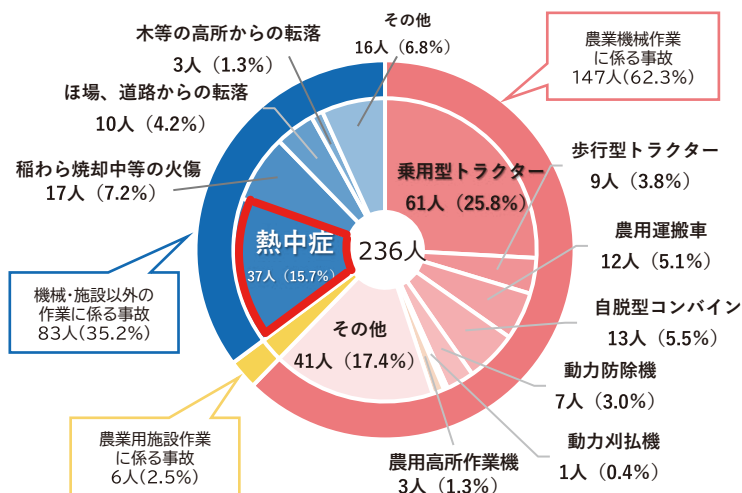
近年、死亡事故要因のうち熱中症の人数が増加傾向。夏季の気温が上昇傾向にあり、熱中症リスクが高まっています。

機械・施設以外の作業に係る事故では「熱中症」が37人と最も多くなっています。

農作業中の熱中症対策のポイント

- 高温時の作業が避けられるよう、作業計画を立てましょう。
- なるべく単独作業は避けましょう。
- 20分おきに休憩＆水分補給しましょう。

要因別の農作業死亡事故発生状況(令和5年)



農大卒業生インタビュー

「多様な品目の栽培管理を行っています。それぞれに違いがあって面白いし、良いものが収穫できればうれしくて、充実感があります。」

そう語るのは、滋賀県立農業大学校から有限会社オカムラ農産へ「就職就農」された村田要さん。水田を基盤とした農業経営を学ぶためオカムラ農産へ2か月間の研修に来たことが就職につながりました。

村田さんは非農家出身ですが、県立甲南高校の「生物と環境コース」で学習する中、「農業が楽しい!」と感じたことがきっかけで、農業大学校へ進学し本格的に就農を目指されました。

農業大学校では「座学や実習で農業を基礎から学び直すことができ、安心して就農することができました。同年代の農業を志す仲間とのつながりができたことも大きな収穫です。」と話されています。



(有)オカムラ農産 村田要さん

現在、特定の担当は持っていませんが、経営全般を理解できるように、オールラウンドプレイヤーとして全品目の栽培管理や経営管理に携わっておられます。社長からは「経営全般を理解してもらって、将来のオカムラ農産を担う人材になってもらいたい。」と大きな期待を寄せられています。

本人も、「今後の目標として、機械操作の技術をもっと身につけ、小さな気づきを積み重ねて経営に役立ちたい。共に農業をする仲間を増やしていきたい。」と話されており、今後のご活躍が楽しみです。

滋賀県立農業大学校のご案内

滋賀県立農業大学校(専修学校)では、専門技術・知識を学ぶことができ、在学中に各種資格の取得が可能です。農業で生計を立てたい方、県立農業大学校で学んでみませんか。

	修業 年限	定員 (名)	主な応募要件	専攻	受付期間 (一次募集)
養成科	2	30	学校教育法に規定する高等学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者、または、これと同等以上の学力を有すると本校校長が認めた者	水田農業、茶、施設園芸 (野菜・花き)、果樹、畜産	令和7年11月18日～ 12月1日(当日消印有効) ^{*1}
就農科	1	15	20歳以上65歳未満かつ研修終了後に県内で農業経営開始が確実な者または、農業法人等の経営者もしくは農業部門責任者になる者	園芸(野菜、花き、果樹)	^{*2} 令和7年11月14日(必着)

その他に推薦募集^{*1}、二次募集^{*1,2}が予定されています。定員に達した場合、二次募集は実施されません。

※詳しくは、県立農業大学校(0748-46-2551)、または当課までお問い合わせ下さい。

この印刷物は、グリーン購入法適合用紙を使用しています。